

多くの来場者でにぎわったぴあフェスティバル



# ぴあフェスティバル盛況

## 4年ぶり、授産品販売やフリマ

室蘭身体障害者福祉協会が運営する室蘭市障害者福祉総合センター（愛称・ぴあ218）の「ぴあフェスティバル」が11日、東町の同センターで4年ぶりに開かれた。市内就労支援施設の授産品などが販売され、買い求める約300人の来場者でにぎわった。

室蘭市手をつなぐ育成会（母恋南町）がシイタケの詰め放題、ひだまりの森（輪西町）がクッキーやマドレーヌ、花ファクトリーあけほの（神代町）が花苗などを販売。来場者は、袋をいっぱいにして買い物を楽しんだ。

同施設を利用する障害者の絵画サークル「輪っかの会」は、作品を展示し、館内を彩った。

このほか、子ども緑日やフリーマーケット、造形教室や「書（おのれしよ）体験」などもあり、障害者と障害者の垣根を越えて、多世代が交流の輪を広げた。

中村正志館長は「一般の人たちにも足を運んでもらい、施設のことを知ってほしい。障害者福祉への理解を深める場になれば」と笑みをこぼした。

（榎方麻衣）